

無線通信研究委員会

SG6 (ジュネーブ)

報告書 (案)

平成 26 年 4 月 4 日

目次

1. まえがき	2
2. 議事概要	2
3. SG6 会合報告	5
3.1 開会あいさつ	5
3.2 議事次第の承認	5
3.3 議事録作成のラポータ指名	6
3.5 前回会合議事録の承認	6
3.6 SG6 Steering Committee の結果	6
3.7 各 WP の会合報告、出力文書審議	6
3.7.1 WP 6A 報告概要	6
3.7.1.1 Report of the Chairman of WP 6A	6
3.7.1.2 Draft or revised Recommendations	7
3.7.1.3 Draft revised Recommendations	7
3.7.1.4 Draft new or revised Reports	9
3.7.2 WP 6B 報告概要	11
3.7.2.1 Report of the Chairman of WP 6B.....	11
3.7.2.2 Editorial updating of Recommendations	11
3.7.2.3 Draft new or revised Questions	11
3.7.2.4 Draft new or revised Reports / Handbooks.....	11
3.7.2.5 Other contributions	11
3.7.3 WP 6C 報告概要	12
3.7.3.1 Report of the Chairman of WP 6C.....	12
3.7.3.2 Draft new or revised Recommendations	13
3.7.3.3 Compliance with Annex 1 of Resolution ITU R 1-6.....	14
3.7.3.4 Suppression of ITU-R Texts	14
3.7.3.5 Draft new or revised Questions	14
3.7.3.6 Draft new or revised Reports and Handbooks	14
3.7.3.7 Draft new or revised Reports and Handbooks	15
3.8 ラポータグループについて	15
3.9 他の SG、国際機関とのリエゾン	16
3.10 IRG-AVA and IRG-AVQA 関連事項	17
3.11 テキストの現状	17
3.12 次回会合予定、その他	17
4. あとがき	17
表 1 日本代表团 SG6 会合参加者	19
表 2 次回会合予定(6/ADM 19)	19
表 3 入力文書一覧(41 件).....	20

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)の第6研究委員会(SG 6:放送業務)は、以下のとおり開催された。

- 開催日 : 2014年4月4日(金)(1日間)
開催場所 : ITU本部(スイス・ジュネーブ)
議長 : Christoph DOSCH(独)
副議長 : 西田幸博(日)、Paolo ZACCARIAN(イタリア)、Cecily HOLIDAY(アメリカ)、Amir Hassan NAFEZ(イラン)、Mohamad AYOUB(レバノン)、Abayomi Olaiya BOLARINWA(ナイジェリア)、Angaman KESSE(コートジボワール)
(欠席: Qingjun ZENG(中国)、Kyung-Mee. KIM(韓国)、Oleg GOFAÏZEN(ウクライナ)、Mohamed SAAD ALMARZOUQI(UAE))
- 参加者 : 32ヶ国、14の認められた企業や地域機関、ITU事務局等から合わせて99名(最終参加者リスト)が参加。
主な国または機関からの参加者数は、中国11名、ロシア連邦5名、アルジェリア4名、イタリア4名、ドイツ3名、イギリス3名、アメリカ合衆国2名、オーストラリア2名、イラン1名、フランス1名、EBU4名、SMPTE3名、ITU BR1名である。日本からは表1に示す6名が参加した。

2. 議事概要

今回は、今研究会期の第5回会合で、3つのWP会合に続いて開催された。勧告改訂案6件の仮採択(すべてPSAAを適用¹)、エディトリアル勧告改訂案1件、新レポート案5件、レポート改訂案4件の承認²、研究課題改訂案3件の採択²および、2件の勧告廃止の合意がなされた。

以下に、今会合で承認手続きに入ることが合意された勧告改訂案、承認されたエディトリアル勧告改訂案、新レポート案及びレポート改訂案、採択された研究課題改訂案および、合意された勧告廃止提案を列挙する。

[1] 仮採択された勧告改訂案

- 勧告 ITU-R BS.774「VHF/UHF帯デジタル音声放送の移動、携帯、固定受信機のサービス要求条件」、BS.1114「30 - 3 000MHz帯の移動、携帯、固定受信機のデジタル音声放送システムデジタルラジオシステム」、BS.1348「30MHz以下のデジタル音声放送に対するサービス要求条件」の改訂案

Doc. 6/ 224 (WP6A) Draft revision of Recommendations ITU-R BS.774, ITU-R BS.1114 and ITU-R BS.1348

- 勧告 ITU-R BT.1206-1 の改訂案「地上デジタル放送のスペクトル制限マスク」

¹ 会合後に、新勧告案または勧告改訂案に対してSGでの採択と構成国による承認を同時に実施する手続きをPSAA、別々に実施する手続きをNormalと呼んでいる。詳細は決議ITU-R 1-6の§10.2~10.4を参照。RA-12において、今後の承認手続きは原則としてPSAAによることが決定された。

² 新研究課題案または研究課題改訂案はSG会合で採択され、会合後に承認手続きを行う。勧告のエディトリアル改訂、レポートとハンドブックはSG会合で承認される。

Doc. 6/ 235 (WP6A) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1206-1 Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting

- 勧告 ITU-R BS.1116 の改訂案「高品質音声符号化システムの主観音質評価法」

Doc. 6/ 226 (WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BS.1116 Methods for the subjective assessment of small impairments in audio systems including multichannel sound systems

- 勧告 ITU-R BT.1680 の改訂案「劇場環境での上映を意図した LSDI 応用における配信用ベースバンド映像フォーマット」

Doc. 6/ 229 (WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1680 Baseband imaging format for distribution of large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment

- 勧告 ITU-R BT.2020 の改訂案「制作と国際番組交換のための UHDTV システムのパラメータ値」

Doc. 6/ 230(WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.2020 Parameter values for ultra-high definition television systems for production and international programme exchange

- 勧告 ITU-R BS.1534-1 の改訂案「中品質音声符号化システムの主観音質評価法」

Doc. 6/ 232(WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BS.1534-1 Method for the subjective assessment of intermediate quality levels of coding systems

[2] 承認されたエディトリアル勧告改訂案

- 勧告 ITU-R BT.2053 のエディトリアル修正「放送・広帯域通信統合システムの技術的要求条件」

Doc.6/244 (WP6B) Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.2053 and Proposed additions to ITU-R Terminology Database

[3] 承認された新レポート案、レポート改訂案

- 新レポート案 ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL]「テレビ受信システムの非直線性を考慮したテレビ放送サービスへの干渉検討に使用される参照モデル」

Doc.6/222 (WP6A) DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL] Reference model to be used for the assessment of interference into the television broadcasting service in order to take into account non-linearity in the television radiofrequency receiving system

- 新レポート案 ITU-R BT.[EMBC]「一般大衆への警報、災害軽減、救援のための放送」

Doc.6/223 (WP6A) DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[EMBC] Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief

- レポート ITU-R BT.2140-6 の改訂案「アナログから地上デジタル放送への移行」

Doc.6/236 (WP6A) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2140-6 Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting

- 新レポート案 ITU-R BT.[FIELD_REPORTS_IMT]「放送業務と同位の一次業務として分配された IMT の導入に関する国内事例の報告」

Doc.6/237 (WP6A) DRAFT NEW REPORT BT.[FIELD_REPORTS_IMT] National field reports on the introduction of IMT in the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services

- 新レポート案 ITU-R BT.[DTTBSPECREQ]「第 1 地域とイランの UHF 帯における地上デジタル放送の周波数要求」

Doc.6/238 (WP6A) DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the UHF frequency band in Region 1 and the Islamic Republic of Iran

- レポート ITU-R BT.2267-1 の改訂案「ハイブリッド放送(放送・広帯域通信統合システム)」

Doc.6/243 (WP6B) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2267-1 Integrated broadcast-broadband systems

- レポート ITU-R BT.2246-2 の改訂案「UHDTV の現状」

Doc.6/221 (WP6C) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2246-2 - The present status of ultra-high definition television

- レポート ITU-R BS.2266-1 の改訂案「将来のオーディオ放送システムの枠組み」

Doc.6/228 (WP6C) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BS.2266 Framework of future audio broadcasting systems

- 新レポート案 ITU-R BS.[ASSESSORSCREENING]「主観評価者のスクリーニング法」

Doc.6/233 (WP6C) DRAFT NEW REPORT ITU-R BS.[ASSESSORSCREENING] Methods for Assessor Screening

[4] 承認されたりエゾン文書案

- ITU-T SG9 へのリエゾン文書「IBB システムに関するセクター間ラポータグループ設置の支持」

Doc.6/242 (WP6B) DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T SG 9 SUPPORT FOR THE ESTABLISHMENT OF THE INTERSECTOR RAPPORTEUR GROUP ON INTEGRATED BROADCAST-BROADBAND SYSTEMS

[5] 仮採択された研究課題改訂案

- 研究課題 ITU-R 45-4/6 の改訂案「マルチメディア・データ放送」

Doc.6/245 (WP6B) DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 45-4/6 Broadcasting of multimedia and data applications

- 研究課題 ITU-R 102-1/6 の改訂案「画質および音質の主観評価法」

Doc.6/225 (WP6C) PROPOSED DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 102-1/6 Methodologies for subjective assessment of audio and video quality

- 研究課題 ITU-R 135/6 の改訂案「映像付き/映像無しのデジタル音声システムのためのパラメータ値とその管理」

Doc.6/227(WP6C) DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 135/6 System parameters for and management of digital sound systems with and without accompanying picture

[6] 合意された勧告の廃止

● 勧告 ITU-R BT.1201 の廃止提案「超高解像度映像(EHRI)」

Doc. 6/220 (WP6C) PROPOSAL FOR SUPPRESSION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1201 Extremely high resolution imagery

● 勧告 ITU-R BT.1769 の廃止提案「制作と国際番組交換のための拡張 LSDI 映像フォーマットのパラメータ値」

Doc. 6/231 (WP6C) SUPPRESSION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1769 Parameter values for an expanded hierarchy of LSDI image formats for production and international programme exchange

3. SG6 会合報告

3.1 開会あいさつ

冒頭、DOSCH SG6 議長より、会合への参加を歓迎するコメントがあった。

3.2 議事次第の承認

6/ADM/18 の議事が特段の意見なく承認された。議長は、新しいカウンセラーとして BUONOMO 氏を紹介した。今会合の 2 週間の間支援してくれたが、彼もまた中継ぎであり、次会合からは HAI 氏に交代することもあわせて紹介し、2 人の経験豊富なカウンセラーの協力を歓迎すると述べた。実際の議事運営は、詳細に記載された ADM/20 について進めることが承認された。

議長は、今会合も KRIVOCHEEV SG6 名誉議長が出席していることに触れ、彼の出席、支援、指導に感謝するとコメントした。

議長は、現在の放送のおかれている放送に関する状況について、とてもエキサイティングであるが一方でとても困難な時期であるとして、5 つの点を挙げた。

- ① JTG4-5-6-7 では、WRC-15 議題 1.1、1.2 に関する CPM テキストの作業が進められている。UHF は誰が使うのか。移動業務が取って替わるのか。もちろん放送事業者は、干渉の無い形で周波数を継続確保したいと考えている。人々は干渉があることに満足しない。放送は、無料で一般大衆に効率的に娯楽や教育番組を、少なくとも私の国(独)では提供でき、他の国でも同様であると思う。朝、ニュースを聞き、運転中に音楽を聞く。放送は生活の一部であることは疑いない。WP6A からの新レポート案、放送の周波数要求は、各国からのアンケートの集約であるが、これには、2 日前にもある主管庁から回答あったことを述べておきたい。
- ② 放送は堅固であり、多くの場合 無料で、他のネットワーク提供できない場合でも人々に情報提供することができるメディアである。特に津波や地震等の時には威力を発揮する。新レポート案 BT.[EMBC]は、放送に果たす役割についての入力のみまとめであり、WP6A での完成を歓迎する。
- ③ SG6 の存在理由としては、放送が End To End システムであることが挙げられる。次世代の放送の品質、UHDTV、受信環境(いつでもどこでもどのディスプレイでも)など、全ての WP に関連した新研究課題案が今日審議される予定である。
- ④ 放送は、コンテンツ無しに成り立たないため、コンテンツは重要である。番組制作、伝送、編集、品質の分析などは重要な要素である。また、メタデータ無しには何もできない。ビット、データには説明が必要である。WP6B,6C で、特に WP6B では音声について研究を進めている。

- ⑤ 勧告 BT.2020 の研究について、また UHDTV に対応する音声の研究が WP6C で進められている。

多くの寄与に感謝して挨拶とする。議長はまた、次期カウンセラーの HAI 氏が会合に同席していることを述べた。

3.3 議事録作成のラポータ指名

議長は、議事録作成のラポータとして、HAI 氏を指名した。

3.4 会議進行に関する連絡

カウンセラーである BUONOMO 氏が、BR を代表して挨拶し、続けて会議進行のための連絡事項を説明した。

BR 局長は現在、WTDC のためにドバイにいる。次回会合では、彼が出席できることを期待している。ロジ面では、Doc.6/INFO/5 を参照する。SG6 会合では、シェアポイントはほとんど使わないが TEMP 文書が間に合わない場合などに使用可能である。この 2 週間、ブロック会合に関われたことを幸せに思う。将来にわたって SG6 への支援を惜しまない。

次期カウンセラーの HAI 氏について議長は、GE06 のエキスパートであると紹介した。HAI 氏は、以下通り挨拶した。SG6 で働けることを幸せに思う。出身大学の先生は、自分より賢い人の元で働くことを勧めてくれた。豪で大学を卒業後、豪政府でアンテナ設計を担当した。95 年に ITU に来て、GE06、HFCC 等を経験した。難民キャンプを視察したことがあったが、どのように難民へ情報を伝えるかが問題と感じた。キャンプでは、ラジオは孤独から救ってくれることを知った。このグループに貢献できること誇りに思う。

このあと、議長が ITU-R 決議 1-6 Annex 1 のパテントポリシーに関するテキスト(Common Patent Policy for ITU-T/ITU-R/ISO/IEC)について説明した。Patent Declaration があればこの会合中を出して欲しいと述べた。

3.5 前回会合議事録の承認

- Doc.6/207 (Chairman, SG6) SUMMARY RECORD OF THE FOURTH MEETING OF RADIOCOMMUNICATION STUDY GROUP 6 (Geneva, 26 November 2013)

議論なく留意された。

3.6 SG6 Steering Committee の結果

議長は、SC で次世代の End to End の放送について検討する 때가来たことが議論されたと述べた。

3.7 各 WP の会合報告、出力文書審議

3.7.1 WP 6A 報告概要

3.7.1.1 Report of the Chairman of WP 6A

- Doc. 6/241 (Chairman, WP6A) Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 25 March - 2 April 2014)

「WP6A の報告」

OLSON WP6A 議長は以下のとおり述べた。

これは WP6A のレポートである。4 つ新レポート案がある。新勧告案が 2 つ、新研究課題案などである。数は少ないが、WP では多くの作業があった。また、RG が会合間に作業を行った。そ

の結果を後ほど報告する予定である。議長レポートについては、来週位までに最終版を提出予定である。

SWG 議長、出席者、セクレタリー、BR の BOTHA 氏、HAI 氏、そして議長の支援に感謝する。また KRIVOCHEEV SG6 名誉議長の将来への視点に感謝する。

特段の議論無く留意された。

3.7.1.2 Draft or revised Recommendations

- Doc. 6/ 224 (WP6A) Draft revision of Recommendations ITU-R BS.774, ITU-R BS.1114 and ITU-R BS.1348

伊、バチカンからの寄書で、先進的受信機の動作に関する勧告改訂案である。3 つの勧告ともに invites に

3 a simple indicator of the received RF field level and of the bit error rate.

を追加したほか、マイナー修正を行った。特段の議論なく仮採択(PSAA)された。

- Doc.6/235 (WP6A) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1206-1
Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting

中国方式の追加を求めるスペクトラムマスク勧告改訂案である。イラン(SWG1 議長)は、BT.1306 はシステム勧告、BT.1206 はスペクトルマスクで勧告番号が似ているが別の勧告である点をコメントした。仮採択(PSAA)された。

3.7.1.3 Draft revised Recommendations

- Doc. 6/185 (WP6A) DRAFT NEW ITU-R QUESTION New technology platform for broadcasting content

2013 年 秋会合で提案された新研究課題提案である。これは、WP6B,6C,とまわって WP6A に来た。SWG でも多くの議論があった。手続きに懸念の声があり、他の SG に LS を送付する提案があったが、SG6 で再提起されることとなった。

(次の Doc.6/218 の後にまとめて審議された)

- Doc.6/218 (Rapporteur Group for a New Study Question on the New Technology Platform for Broadcasting) PROPOSAL FOR A POSSIBLE DRAFT NEW STUDY QUESTION ON THE NEW TECHNOLOGY PLATFORM FOR BROADCASTING

議長は、本人が RG 議長になって、議論を進めたと発言し、背景について説明した。Doc.6/218 では、リニア/ノンリニアの放送コンテンツは、ブロードバンド、FSS バンド、ワイヤレスケーブル TV(1.8 - 2.5GHz)でも運用されている。IBB も大きな課題の 1 つである。また Catch Up TV は毎日毎日使われている。ITU-T SG-5, 9, 12, 16 とは密接に協力しながら勧めてく必要がある。

WP6A 議長は、WP6B,6C が WP6A にコメントを寄せ、Doc.6/239 となったことを報告した。

BBC は、以下の通り発言した。

課題は User Requirement と Service Requirement である。ユーザーはエンドユーザーだけではなく、コンテンツ編集者も含まれる。この研究はレポートに含まれるべきで 2016 年までに終了されるべきと提案した。BBC は、iPlayer サービスなど、マルチプラットフォームで展開している。懸念は、decide1, 3 で、修正が必要である。RG が次回までに研究を行うことを提案する。この研究課題の重要性は認識しているが、User Requirement は研究課題の一部とするべきと考える。

WP6C 議長は、Catch Up TV を英は求めていると思われるが、ハイブリッドシステムは、WP6B が研究している。Cooperative Network を目指すのであれば WP6B と SG6 の研究の差について明確化が必要だと述べた。

議長は、放送の中で新しいデバイスについて示す必要がある。どの受信機でもどこでも受信できるもので、ブラジルでは、カーナビにテレビが内蔵されており、ISDB-T が受信できた。これは、放送側が受信機を示していく必要があると考えていると述べた。

WP6A 議長は、これらのコメントを WP6A,B,C に送り、再検討させること、更に RG で検討すること、寄書を求め、内容を消化して次会合に臨むのがよいとした。

WP6C 議長は、User Requirement はすでに decides に記載あるものと同じかと BBC に確認した。BBC はその通りとし、以下のコメントを追加した。

BBC は、この研究課題は、将来の放送そして消費者に重要である。しかし BBC からの提案から修正され、何が本当に必要か不明確になった。視聴者にどのようにコミュニケーションしているかを明確化すべきであると述べた。

イランは、リエゾン文書を他の SG に送る点について確認した。

議長は、研究課題は各 SG の所掌であり、他の SG にこの時点で LS を送付して情報提供する必要はないと考えたと述べた。コメントを求めることは可能かもしれないが Joint Question は困難と考えたとした。

英(RIPLEY 氏)は、WP6A でも同じコメントをしたとし、衛星、地上放送、インターネットなどとの間で必要なのはインターフェース、あとは相手からコンテンツを取ってもらえばよい。単に LS を送付すると回答が発散するので SG6 でリードするべきと述べた。

議長は、英を支持し、少なくとも研究課題は SG6 で作成すべきとした。WP6A 議長も LS 不要とし、最終版ができた段階で他のグループと調整するかを示せばよいとし、研究課題の有無に関係無く進めるべきであるとし、User Requirement, Service Requirement を SG6 で作成することとした。

加は、関心事である Integration of Terminal Device, Network に関する Joint Question を作成するのではなく、情報提供を求める事を LS として WP5A,5D、SG4 には送るべきと述べた。

伊は SG6 の所掌であることを支持した上で、User Requirement より先に、将来のビジョンを決めるべきで、他のメディアと情報交換をどう行うか、User Requirement, Service Requirement はその後にあるべきであるとした。

議長は、RG での検討を行い、文書に Informative Annex を付して、ハイレベルなビジョンを入れることを RG のタスクとする。また、Requirement についても作業を行うと述べた。

BBC は、情報として LS を送付するのは良いのではないかと加を支持したが、議長は、WP5A、5C は RF のみを扱い、ベースバンドは SG6 の所掌であることは疑いないと述べた。

日本は、この時点での LS は不要であるとして英、伊を支持した。CBS も放送とは何か？という質問が自分達に戻ってくる危険性あるとして LS 送付に懸念を示した。議長は、RR にある Audience を制限せずに提供する Radio Communication であり、制限があればそれは放送ではない。CBS ニュースをネットでみるのは、放送コンテンツだが、放送ではないと理解していると CBS に回答した。

議長は、RG 継続の TEMP 文書をお昼休みに作成して午後提示すると述べた。

EBU Dynamic Broadcasting なども提起すべきかと質問したが、議長はあらゆるアイデアを歓迎すると回答した。

(以下、昼食後に議長が作成した RG 継続に関する TEMP 文書について審議)

- Doc.6/TEMP/3 CONTINUATION OF THE RAPPORTEUR GROUP ON NEW TECHNOLOGY PLATFORM FOR BROADCASTING CONTENT

議長は、TEMP 文書作成後に以下の修正を提案されたとして修正案を提案した。

During the meeting on 4 April 2014, Study Group 6 **received WP6A's considerations of the proposed new Question (Document 7/239) and** decided to continue the work of the Rapporteur Group to further refine the wording of the proposed new Question including the **additiendevlopment** of an **Annex-text** that would give the vision and intention of such a new technology platform. At the same time the Rapporteur Group should begin working on potential high-level, end-to-end User Requirements that such a new technology platform would require.

また、Amended Terms of reference of the Rapporteur Group では、

- TV を削除
- To propose を To report on に修正
- Annex を text relevant に修正
- To report back to Study Group 6 に and its Working Parties を追加

が追加されたが、引き続き検討が必要であるとして、議長レポートに添付され継続審議されることとなった。

KRIVOCHEEV 氏は以下のコメントを述べた。

今回、新技術プラットフォームの研究課題について広く関心があることを確認できた。SG6 参加者を代表して SG6 議長であり RG 議長である DOSCH 氏に研究課題の動きに祝意を表す。多機能地デジ受信機は情報交換においてとても重要な意味を持つ。結果は、全ての国の TV とマルチメディアの構造に影響を与える。2 つのコメントをしたい。

- ① RG を継続すること
- ② TV の質の向上に遅れることなく研究結果を広く反映すること。そのために SG6 はシステムチックに勧告を改善すること

しかしながら、映像品質向上には、受信機の性能向上により産業界も貢献している。我々制作・送信側と受信機側が協調・調和して勧告を向上させる必要がある。これは SG6 の ToR に従って解決される必要がある。例として、WP6C での HDR があるが、新しいプラットフォームはさらに大きな映像品質向上が必要で、これに向けて関係者が新しい TV の映像品質向上に関する研究課題を作成する必要があると考える。WOOD WP6C 議長が、次回 SG6 会合で新しい包括的な研究課題をドラフトすることができるのではないかと考える。

議長は、送信側の映像処理の要求に応える受信機の性能についても検討してくれると期待していると述べた。WOOD 氏は、WP6C の専門家の支援を得て次回会合に新研究課題を提案したいと述べた。

3.7.1.4 Draft new or revised Reports

- Doc.6/222 (WP6A) DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL]
Reference model to be used for the assessment of interference into the television broadcasting service in order to take into account non-linearity in the television radiofrequency receiving system

新レポート案 ITU-R BT.[DTB] 「地上デジタル放送システム」

RAI が作成した、今会合には寄与が無く、屋根上のプリアンプへの複数信号による干渉の影響を評価した新レポート案である。

特段の議論なく承認された。

- Doc.6/223 (WP6A) DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[EMBC] Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief(前会合日本提案)

WP6A 議長は、100 ページもあるレポートだったため、ラポータが作業して文書を埋め込むなどして 15 ページの形になった。LS も作成した。ITU-R, ITU-D にこのレポートが承認された後に送付予定である。Co ラポータの STANLEY 氏, CLOUDY に感謝すると述べた。議長は、前会合にワークショップも開催したことを思い出すと述べた。

日本は PDF 化されても埋め込みファイルにしても読めるようにしてほしいと要望し、カウンセラーが対応することになった。議長は、レポートなので更に更新可能なので更なる追記を求める場合は歓迎するし、技術的解決についても追加可能であると述べた。

承認された。

- Doc. 6/236 (WP6A) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2140-6 Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting

中国からの地デジ移行の情報更新を行うレポート改訂案である。

特段の議論なく承認された。

- Doc.6/237 (WP6A) DRAFT NEW REPORT BT.[FIELD_REPORTS_IMT] National field reports on the introduction of IMT in the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services

放送業務と移動業務が Co-primary となっている帯域についての各国の経験について記載した IMT 導入のレポート案であり、仏、独、蘭の提案が含まれている。将来の更新も予定している。

承認された。

- Doc.6/238 (WP6A) DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the UHF frequency band in Region 1 and the Islamic Republic of Iran

当初 WRC-15 議題 1.2 についてアンケートを行った結果であった。多くの結果が JTG に送られたが、SG6 のレポートの形で残す事が議論され、タイトル変更などを経て SG6 上程されたものである。議長は、タスク完了と RG の議長の BUNCH 氏(豪)への謝意を述べた。

SWG3 議長の BARRETT 氏(Free TV Australia)は、Annex1 の始めに []がある。WP6A での承認後にハイパーリンクの付け替えをカウンセラーと議論した。WP6A プレナリ後だったためここで議論をお願いしたいと述べた。カウンセラーは、リンク先を WP6A の WEB サイトとすることを BUNCH 氏と話したと述べた。

英は Public Access が可能な状態でファイルを保存することを求めカウンセラーが対応することで合意された。

新レポート案は承認された。

最後に WP6A 議長が参加者、SG6 議長、事務局に謝意を表した。

3.7.2 WP 6B 報告概要

3.7.2.1 Report of the Chairman of WP 6B

- Doc.6/246 (Chairman, WP6B) EXECUTIVE REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 6B(Geneva, 31 March - 3 April 2014)

西田 WP6B 議長より、2 つの SWG と 1 つの Ad-hoc を設立し、審議したこと、今回、4 件の審議文書を提出しており、後ほど審議をお願いすること、継続審議となっている課題として、UHDTV インターフェース、音声関連メタデータと音声ファイル形式、IBB システム、字幕などがあること、多くのリエゾン文書を送付したこと、ラポータ、ラポータグループを設立して次会合に向けて効率的な運営を行うこと等について、6/246 に基づいて報告がなされた。

SG6 議長より、多くの研究項目に取り組んでおり、特に UHDTV インターフェースに関する新勧告案が次回 SG6 会合に提出されることを期待している旨の発言があった。

3.7.2.2 Editorial updating of Recommendations

- Doc.6/244 (WP6B) Editorial revision of Recommendation ITU-R BT.2053 and Proposed additions to ITU-R Terminology Database

勧告 BT.2053 のエディトリアル改訂案と、それに伴う用語の定義の変更と 4 つの用語を ITU の Terminology Data Base に追加する提案の 2 つが記載された文書である。

修正なく承認された。用語の追加に関する CCV への通知はセクレタリーが行うことが確認された。

3.7.2.3 Draft new or revised Questions

- Doc.6/245 (WP6B) DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 45-4/6 Broadcasting of multimedia and data applications

研究課題 45-4/6 の改訂案で、新たな形のディスプレイでの表示も研究対象であることの明確化や、EHRI に関する記載の削除等が行われている。

修正なく仮採択された。PSAA で主管庁に送付される。なお、カウンセラーより、研究課題に関しても勧告と同様に、PSAA と Normal のどちらかを選択できるようになったことが説明された。

3.7.2.4 Draft new or revised Reports / Handbooks

- Doc.6/243 (WP6B) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2267-1 Integrated broadcast-broadband systems

Annex 5 として、Integrated broadcast-broadband system based on the Ginga middleware を追加する改訂案である。修正なく承認された。

3.7.2.5 Other contributions

- Doc.6/242 (WP6B) DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T SG 9 SUPPORT FOR THE ESTABLISHMENT OF THE INTERSECTOR RAPPORTEUR GROUP ON INTEGRATED BROADCAST-BROADBAND SYSTEMS

SG6 から ITU-T SG9 へのリエゾン文書案として WP6B で準備された文書である。

IRG-IBB 設立を支持すること、SG6 として共同議長として、Ms. Ana Eliza Faria e Silva を提案すること、Terms of Reference をアップデートすることを提案すること、特に Working Procedure に対して変更を提案する内容になっている。アイコン添付された Terms of Reference の変更案に変

更履歴マークがないことの指摘が WP6B 議長からあり、事務局で変更履歴マークをつけることが確認された。また、リエゾン文書として送付する際は、WP6B を SG6 に書き換えることも確認された。

修正なく承認された。(事務局で上記のエディトリアルな変更を行う。)

3.7.3 WP 6C 報告概要

3.7.3.1 Report of the Chairman of WP 6C

- Doc. 6/234 (Chairman, WP6C) EXECUTIVE REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 6C (Geneva, 24-28 March 2014)

WP6C 会合期間に UHDTV に関するミニワークショップを開催したこと、日本、韓国、EBU、BBC がプレゼンテーションをしたこと、プレゼンファイルは WP6C ホームページにダウンロード可能になっていること、日本と韓国では UHDTV 放送の試験放送が既に行われている、あるいはすぐに始まり、明確な本格導入の計画を持っており、10 年 20 年先と思われたことが数年後に実現する状況になっていることなどが報告された。

SG6 議長から、ミニワークショップに出席して有意義なものであると感じたが、WP6C 参加者間の情報交換的な位置づけになっていると思った。メディアや外部の方々が参加でき、多くの人々に知られる形でのフルバージョンの UHDTV オープンワークショップを開催したいと考えている。これまで、UHDTV、3DTV、地上デジタル TV 放送での変調技術などのワークショップを開催してきており、これに続くものを開催していきたいと考えている。来年 2 月の会合時の World Radio Day に合わせてイベントを開催したら効果的と思われ、最新のデジタル音声放送、マルチメディア放送なども良いテーマと思っている旨の発言があった。

WP6C 議長から、2 つの IRG が設立され、活動を開始した。ITU-T と ITU-R の放送、CATV、IPTV の専門家が集まり、協調して進めていく良い組織ができたと思うが、IRG-AVA では、ITU-T と ITU-R の Working Procedure が異なり、第 1 回では有意義な活動ができなかった。評価法に関する IRG-AVQA は問題ないスタートができ、その結果が共同議長 Chulhee Lee 氏から報告があったこと等が述べられた。

SG6 議長から、7 月に札幌で ITU-T SG16 会合に合わせて IRG-AVQA が短期間の日程で開催される。それまでに ITU-T 側と相談し、Working Procedure の明確化を図りたいと考えている旨の発言があった。

WP6C 議長は、7 月の際は IRG-AVA 会合はごく短期な開催であること、TV 放送受信機に聴覚障害者向けの特別な機器が装備されたものが展示される予定であり、11 月には ITU-R SG6 会合に合わせてフル期間の IRG-AVA が開催予定になっていることが紹介された。

High(er) Dynamic Range に関していくつかの提案があり、これに関する RG (A.Quested 議長) では、比較テストの実施が準備されており、積極的な参加をお願いしたい旨の発言が WP6C 議長からあった。

映像評価法と音声評価法の評価結果データに共通に使用可能な分析手法に関する RG を設立したこと、映像評価法と音声評価法における専門用語の用語集作成の RG を設立したこと、映像信号形式に関する勧告の見直しに関するラポータを指名したこと、広色域(勧告 BT.2020)から狭色域(勧告 BT.709)への変換方法に関する RG を設立したことなどを紹介した。

3.7.3.2 Draft new or revised Recommendations

- Doc. 6/226 (WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BS.1116 Methods for the subjective assessment of small impairments in audio systems including multichannel sound systems

オリジナルとの差が小さいときに使用される音声の主観評価法の改訂案である。

修正なく仮採択された。(PSAA)

- Doc. 6/232 (WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BS.1534-1 Method for the subjective assessment of intermediate quality levels of coding systems

オリジナルとの差がある程度ある中間音質に対して使用される音声の主観評価法の改訂案である。

Attachment 2 to Annex 1 のタイトルが Guidance notes on user interface design となっているにもかかわらず、Normative になっていることへの質問があった。ガイダンスであれば Informative ではないかというのが質問の趣旨である。いくつかの意見が出されたが、結果的に、Informative とすることで合意された。

また、recommends 文に should を挿入する提案があり、了承された。

以上の変更の後に、仮採択された。(PSAA)

- Doc. 6/229 (WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1680 Baseband imaging format for distribution of large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment

劇場環境での大スクリーンでの上映を意図したアプリケーションでのベースバンド映像フォーマットを規定する勧告に対し、勧告 BT.2020 で規定された UHDTV を追加する改訂案である。

変更なく仮採択された。(PSAA)

- Doc. 6/230 (WP6C) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU R BT.2020 Parameter values for ultra-high definition television systems for production and international programme exchange

UHDTV スタジオ規格を規定する勧告 BT.2020 の改訂案である。

米が、表 2 にある NOTE に関して、100Hz と 120/1.001Hz が勧告に採用されているのか、されていないのか曖昧であり、NOTE の 1 つを以下のように変更する提案した。

(b) The additional frame rate of 120/1.001 Hz has been selected for the use in Japan, while it is still under study in other 60 Hz countries.

日本から、前回会合時の議長レポートに添付された改訂草案の内容を支持する多くの寄書が提出されており、米のみがその採択に反対しているのが現実であり、米こそが Reservation を付けるべきであり、米提案の NOTE を受け入れられない旨の発言があった。

米は、100Hz の追加に関しては支持しており、100Hz と 120/1.001Hz を別々に取り扱うべきと主張したが、議長は、120Hz が 60Hz を超えた世界統一フレーム周波数であるという位置づけでなくなる状況では、50Hz 圏と 60Hz 圏において backward compatibility のあるフレーム周波数である 100Hz と 120/1.001Hz は 1 セットで審議されなければならないとの意見が WP6C でなされており、同じ審議はしたくない旨の発言をした。

SONY はハリウッドでは既に 120/1.001Hz の機器が実際に使用されていることを指摘し、CBS も 120/1.001Hz の採用を支持する発言をしたが、米は実際に各企業で行われている話と主管庁としての判断は別のレベルの話であり、混在して議論しないでほしい旨の発言をした。その後、英、BBC、SONY、米国等から、いくつかの NOTE のテキストが提案されたが、合意に至らず、議長はコーヒブレイクで関係者が審議することを求めた。

コーヒブレイク後に、WP6C 議長から、オリジナルのテキストのまま、以下のように、Informative footnote の表記を挿入することで合意されたことが報告された。この表記により、情報の位置づけで記載されていることが明確になり、米も了承したと理解される。

^(a) Informative footnote The additional frame rate of 100 Hz is used in a number of 50 Hz countries.

^(b) Informative footnote The additional frame rate of 120/1.001 Hz is used in a number of 60 Hz countries, while it is still under study in a number of other countries.

上記の修正後に、仮採択された。(PSAA)

英から、主管庁として、番組制作業界に対して制約を与えることをしていないこと、スタジオ等の番組制作施設では直流型の照明機材が増えてきて、どのフレーム周波数で制作してもフリッカーの問題がなくなりつつあるとの発言があった。

3.7.3.3 Compliance with Annex 1 of Resolution ITU R 1-6

- Doc. 6/219 (BR) PATENT STATEMENT EOTF for high dynamic range video
留意された。

3.7.3.4 Suppression of ITU-R Texts

- Doc. 6/220 (WP6C) PROPOSAL FOR SUPPRESSION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1201 Extremely high resolution imagery
コメントなく廃止提案は合意された。

カウンセラーから勧告廃止に関する手続きの説明があり、SG6 会合での合意の後に、主管庁の承認を受ける段階があること、決議 1-6 (Deletion of Recommendation) に記載されていることが説明された。

- Doc. 6/231 (WP6C) SUPPRESSION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1769 Parameter values for an expanded hierarchy of LSDI image formats for production and international programme exchange
コメントなく廃止提案は合意された。

3.7.3.5 Draft new or revised Questions

- Doc. 6/225 (WP6C) PROPOSED DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 102-1/6 Methodologies for subjective assessment of audio and video quality
P.2 の脚注の gadgets を devices に変更した後、仮採択された。(PSAA)
- Doc. 6/227 (WP6C) DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 135/6 System parameters for and management of digital sound systems with and without accompanying picture
修正なく仮採択された。(PSAA)

3.7.3.6 Draft new or revised Reports and Handbooks

- Doc. 6/221 (WP6C) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2246-2 The present state of ultra-high definition television
修正なく承認された。

- Doc. 6/228 (WP6C) DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BS.2266 Framework of future audio broadcasting systems

勧告 BS.2051 に収録された内容でレポート BS.2266 の内容と重複している箇所を削除する改訂案である。修正なく承認された。

- Doc. 6/233 (WP6C) DRAFT NEW REPORT ITU-R BS[ASSESSORSCREENING] Methods for Assessor Screening

評価者のスクリーニング法に関する新レポート案である。グラフのデータを Zip ファイルが 3 箇所であり、しかも同じグラフがレポートに記載されていることについて質問があった。

カウンセラーから、スクリーニングを行うソフトウェアを添付する意図であったが、文書作成段階で誤解があった。ソフトウェアがあるウェブへのリンクを付ける形にするか、ソフトウェアを添付する等の方法で対処する予定である旨の説明があった。

上記の修正が事務局で行われることを条件に新レポート案は承認された。

3.7.3.7 Draft new or revised Reports and Handbooks

- Doc. 6/214 (ITU-T ST16) LIAISON STATEMENT TO ITU-R SG 6 on communication in the work regarding ITU-T H.265 on revised IPTV basic terminal model

WP6B 議長と WP6C 議長が準備した 6/TEMP/4 を返書として送付することが了承された。

- Doc. 6/215 (UK) PROPOSED ACTIONS ON RECOMMENDATION ITU-R BT.2020 Parameter values for ultra-high definition television systems for production and international programme exchange

勧告 BT.2020 の改訂草案の内容のまま、早期に採択・承認を行って改訂を完了させてほしい旨を記載した文書である。留意された。

3.8 ラポータグループについて

- Doc.6/217 (SG6 RG on PLT Issues) REPORT ON RECENT DEVELOPMENTS CONCERNING PLT AND WIRED TELECOMMUNICATION SYSTEMS

「PLT と有線通信に関する最近の進展の報告」

PLT を所掌するラポータグループの報告である。いくつかのポイントについて説明した。

1.4 章 Doc.6A/372 勧告 J.195.1(J.Hi-NoC)について説明した。

1.5 章 SG9 の STB に関する勧告 J.HiNoC について、周波数は 790MHz-1.2GHz であるが、サブキャリアの On/Off ができるのと楽観的な内容となっているが、将来には IMT をも含め干渉にある懸念がある。

1.6 章 K.60 について WP1C 議長からコメントを受けた。リエゾンを ITU-R の責任グループである WP1A に送付した。K.60 は国内の問題に見える勧告である。

2 章 ケーブルシステムが、PLT、SG15 の VDSL, G.fast に対して干渉を起こしているとしている事を記載した。これは FM と G.Fast の耐性と似ている。BT、AT&T は注視しているかもしれない。

3 章 CENELEC は、30MHz 以上で、-55dBm が制限値を 15dB 程度緩和する記載をしている点を注意する必要があるので、CENELEC に対して ITU で研究が行われていることへの明確化を求める必要がある。

4 章 リエゾンを K.60 について送付した。ITU-T, ナローバンド PLT、スマートグリッドについても IEC に懸念がある。ITU-T のカウンセラーに問題を持ち込んでいると聞いている。ITU-T と引き続き協力していく。

議長は、上限が 1.2GHz まで上がってしまったのは悪いしらせだが、一方で、PLT も被害者になっている点は逆に協力していけるところがあるかもしれないと述べた。

文書は留意された。また、SHAW 氏のラポータ継続が合意された。

- Doc. 6/213 (RG of SG6 on Terminology) REPORT OF THE RAPPORTEUR ON TERMINOLOGY

「用語定義に関するラポータの報告」

WP6B 所掌の IBB と encapsulation function、deliver function、control function、WP6A 所掌の Modulation Error Ratio について記載されている。

WP6A と WP6B で議論され、WP6B は 6/244 として文書を提出した。

伊は、WP6B では、用語定義に不確実性があり、SG6 への寄書として、より適切な用語定義に変更するように入力していると発言した。また、ラポータは SG6 にリエゾンしており、SG6 がラポータにリエゾン返書を送付するのが正しい方法である。WP6A も同様にすべきかどうかと質問した。

議長は、WP6A は用語定義について同意しており、その必要は無いと回答した。

また、CCV に対して modulation error ratio は問題なく、deliver function, control function はあまりにも一般用語であるので定義されるべきではない。そして encapsulation は良く、IBB の用語は少し変更する提案があると答えると発言した。

- Doc.6/240 (SG6 RG on Future Spectrum requirements for broadcasting) PROGRESS REPORT OF THE RAPPORTEUR GROUP ON FUTURE SPECTRUM REQUIREMENTS FOR BROADCASTING

「放送のための将来の周波数要求に関するラポータグループの報告」

RG 議長を WEBBER 氏(BB) から BARRETT 氏(Free TV Australia)に交代して継続する。情報として留意された。

3.9 他の SG、国際機関とのリエゾン

- Doc. 6/212 (FG Bridging the Gap from Innovation to Standards (FG Innovation)) LIAISON STATEMENT ON NEW STANDARDIZATION ACTIVITIES FOR ITU-T STUDY GROUPS AND ICT INNOVATION PANEL [TO ALL ITU-T STUDY GROUPS, ITU-D STUDY GROUPS AND ITU-R STUDY GROUPS]

「(ITU-T、ITU-D、ITU-R のすべての SG に向けた)ITU-T SG と ICT INNOVATION PANEL の標準化活動に関するリエゾン」

FG-Innovation of ITU-T からのリエゾンであり、情報として留意された。

3.10 IRG-AVA and IRG-AVQA 関連事項

- Doc. 6/209(ITU-T SG9) Liaison statement Announcement: the intersector rapporteur group on audiovisual quality assessment (IRG-AVQA) has been established

映像音声品質評価の IRG が設立されたアナウンスのリエゾン。情報として留意された。

- Doc. 6/ 210(ITU-T SG9) Liaison statement on establishment of intersector rapporteur groups on audiovisual quality evaluation (IRG-AVQA)

映像音声品質評価の IRG が設立されたことのリエゾン。情報として留意された。

- Doc. 6/211(ITU-T SG9) Liaison statement on creation of an Intersector Rapporteur Group on Audiovisual Media Accessibility (IRG-AVA)

映像音声メディアアクセシビリティの IRG の設立に関するリエゾン。情報提供として留意された。

3.11 テキストの現状

- Doc. 6/247 LIST OF DOCUMENTS ISSUED (Documents 6/207 - 6/247)

留意された。

- Doc. 6/154 Status of Text

留意された。

3.12 次回会合予定、その他

次回会合の予定を表 2 に示す。

議長から以下のアナウンスがあった。次会合は 2014 年 11 月に予定している。2015 年 10 月には、RA-15、引き続いて 11 月には WRC-15 が開催される予定のため、SG6 の 2015 年の会合は 2015 年 2 月および 2015 年 7 月に開催予定である。WRC に向けた作業は 7 月会合までに完了する必要がある。

また、議長は、IBB やインタラクティブ TV、第 1 地域の放送とモバイルサービスの周波数共用といったテーマでのワークショップ開催の検討を各 WP 議長に求めた。

さらに 2 月の会合は、UNESCO 主催で毎年 2 月 13 日に開催される World Radio Day(次回は ITU、EBU 共催)に日程が重なる。データ放送機能を備えた新しいデジタルラジオをメディアに公開するチャンスと考えているので何かできないか検討してほしいとの発言があり、少なくとも Hbb Radio のデモは可能であると述べた。

SMPTE は、放送局やメーカーと UHD TV のエコシステムに関して、研究を行ってきたが、そのレポートが本日発行され、<http://SMPTE.org/uhdtv-report/> で閲覧できることができると紹介した。

4. あとがき

3 月 24 日には WP6C の会合内で UHD TV に関するミニワークショップが開催され、日本、韓国などから UHD TV のロードマップや、技術的アプローチなどについて発表があり、アジアでの UHD TV に向けた早い動きを世界に印象づけた。また、2013 年春会合より進めていた非常放送については、東日本大震災での放送が果たした役割を盛り込み、レポート化が承認され、災害次の放送の重要性をアピールする活動に一つの区切りを付けることができた。

UHDTV の映像フォーマットの勧告 BT.2020 へのフレーム周波数追加の議論は、2013 年 4 月会合で日本が提案した 120/1.001Hz の追加について、WP6C、SG6 会合ともに米、加の強い反対があったが、粘り強い議論の結果、欧州提案の 100Hz と並んだ記載となった。勧告制定時の世界共通の高フレーム周波数統一という理念は崩れたが、各地域での現実に即した内容が取り入れられたと考えている。

今後 CPM-15-2、WRC-15 に向け、放送の周波数保護(要求)に関する議論も、活発化していくと考えられる。引き続き、放送が一般大衆に重要な情報を安定して遅延なく、そして安価に提供できる形が残せるよう努力を続けていく必要があると考える。

表 1 日本代表団 SG6 会合参加者

五十嵐 徹	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長
平川 秀治	(株)東芝 技術企画室 主監(標準化担当)
清水 勉	(一社)日本民間放送連盟 (株)TBS テレビ メディア戦略室 技術戦略部 担当部長)
井上 幸	(一社)日本民間放送連盟 (株)フジテレビジョン 技術開発局 技術開発室 開発推進部 部長職)
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 上級研究員
久代 雄一郎	日本放送協会 技術局 計画部 副部長

表 2 次回会合予定(6/ADM 19)

2014 年 11 月期	
WP 6A	11/11-11/19
WP 6B	11/17-11/20
WP 6C	11/10-11/14
SG 6	11/21

表 3 入力文書一覧(41 件)

入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
207	Chairman, SG 6	Summary record of the fourth meeting of Radiocommunication Study Group 6 (Geneva, 22 November 2013)	Noted
208	WP 5B	Liaison statement to Study Group 6 (copy to Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5C, 5D and 6A) - Development of Question ITU-R 136-2/6 on Worldwide broadcasting roaming	Noted
209	ITU-T SG 9	Liaison statement announcement: the Intersector Rapporteur Group on Audiovisual Quality Assessment (IRG-AVQA) has been established	Noted
210	ITU-T SG 9	Liaison statement on establishment of Intersector Rapporteur Groups on Audiovisual Quality Evaluation (IRG-AVQA)	Noted
211	ITU-T SG 9	Liaison statement on creation of an Intersector Rapporteur Group on Audiovisual Media Accessibility (IRG-AVA)	Noted
212	ITU-T FG Innovation	FG Bridging the Gap from Innovation to Standards (FG Innovation) - Liaison statement on New Standardization Activities for ITU-T Study Groups and ICT Innovation Panel [to all ITU-T Study Groups, ITU-D Study Groups and ITU-R Study Groups]	Noted
213	SG 6 Rapp. on terminology	Report of the Rapporteur on Terminology	Noted
214	ITU-T SG 16	Liaison Statement on communication in the work regarding ITU-T H.265 on revised IPTV basic terminal model [to ARIB, ATIS, ATSC, DVB, ETSI EP-E2NA, ITU-R Study Group 6, IEC TC100]	Noted
215	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Proposed actions on Recommendation ITU-R BT.2020 - Parameter values for ultra-high definition television systems for production and international programme exchange	Noted
216	Rapp. on Emergency Broadcasting	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[EMBC] - The importance of terrestrial broadcasting in providing emergency information to the public	Noted
217	SG 6 Rapp. on PLT Issues	Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunications systems	Noted
218	RG - New Study Question, new Tech. Platform	Proposal for a possible Draft New Study Question on the new technology platform for broadcasting	Noted
219	BR Study Groups Department	Patent statement - EOTF for high dynamic range video	Noted
220	WP 6C	Proposal for suppression of Recommendation ITU-R BT.1201 - Extremely high resolution imagery	合意

入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
221	WP 6C	Draft Revision of Report ITU-R BT.2246-2 - The present state of ultra-high definition television	承認
222	WP 6A	Draft New Report ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL] Reference model to be used for the assessment of interference into the television broadcasting service in order to take into account non-linearity in the television radiofrequency receiving system	承認
223	WP 6A	Draft new Report ITU-R BT.[EMBC] - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	承認
224(Rev.1)	WP 6A	Draft revision of Recommendations ITU-R BS.774, ITU-R BS.1114 and ITU-R BS.1348	仮採択 PSAA
225	WP 6C	Proposed draft revision of Question ITU-R 102-1/6 - Methodologies for subjective assessment of audio and video quality	仮採択 PSAA
226(Rev.1)	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1116 - Methods for the subjective assessment of small impairments in audio systems including multichannel sound systems	仮採択 PSAA
227	WP 6C	Draft revision of Question ITU-R 135/6 - System parameters for and management of digital sound systems with and without accompanying picture	仮採択 PSAA
228	WP 6C	Draft Revision of Report ITU-R BS.2266-1 - Framework of future audio broadcasting systems	承認
229(Rev.1)	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1680 - Baseband imaging format for distribution of large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment	仮採択 PSAA
230(Rev.1)	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2020 - Parameter values for ultra-high definition television systems for production and international programme exchange	仮採択 PSAA
231	WP 6C	Suppression of Recommendation ITU-R BT.1769 - Parameter values for an expanded hierarchy of LSDI image formats for production and international programme exchange	合意
232(Rev.1)	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.1534-1 - Method for the subjective assessment of intermediate quality levels of coding systems	仮採択 PSAA
233	WP 6C	Draft new Report ITU-R BS.[ASSESSORSCREENING] - Methods for Assessor Screening	承認
234	Chairman, WP 6C	Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 24-28 March 2014)	Noted
235(Rev.1)	WP 6A	Draft revision of Recommendation ITU-R	仮採択

入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
		BT.1206-1 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	PSAA
236	WP 6A	Draft Revision of Report ITU-R BT.2140-6 - Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting	承認
237	WP 6A	Draft New Report ITU-R BT.[FIELD_REPORTS_IMT] - National field reports on the introduction of IMT in the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services	承認
238	WP 6A	Draft new Report ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] - Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the UHF frequency band in Region 1 and the Islamic Republic of Iran	承認
239	WP 6A	Draft new ITU-R Question - New technology platform for broadcasting content	6/TEMP/3 を作成 WP で継続審議
240	RG on spectrum requirements	Study Group 6 Rapporteur Group on Future spectrum requirements for broadcasting - Progress Report of the Rapporteur Group on Future spectrum requirements for broadcasting	Noted
241	Chairman, WP 6A	Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 25 March - 2 April 2014)	Noted
242	WP 6B	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 9 - Support for the establishment of the intersector Rapporteur Group on integrated broadcast-broadband systems	6/TEMP/4 を作成 LS 送付
243	WP 6B	Draft Revision of Report ITU-R BT.2267-1 - Integrated broadcast-broadband systems	承認
244	WP 6B	Editorial revision of Recommendation ITU-R BT 2053 and proposed additions to ITU-R terminology database	エディトリアル 修正承認/カウン セラーから CCV へ情報提供
245	WP 6B	Draft revision of Question ITU-R 45-4/6 - Broadcasting of multimedia and data applications	仮採択 PSAA
246	Chairman, WP 6B	Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, 31 March - 3 April 2014)	Noted
247	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6/207 - 6/247)	Noted